

飼料米
WCS対応
(ただし出穂前まで)

水稻用中・後期除草剤

シアゲMF[®]

1キロ粒剤

雑草との戦いに、
ケリをつける。



ホタルイ



ノビエ



シズイ



オモダカ



コナギ



クログワイ

メタミホップ配合



高葉齢のノビエに!



科研製薬株式会社

® は科研製薬(株)の登録商標



シアゲMT[®]

1キロ粒剤

特
長

- 1 高葉齢ノビエに卓効を示す新規成分“メタミホップ”配合で、ノビエ4.5葉期まで使用可能。
- 2 3成分の配合で、幅広い草種に高い効果。
- 3 多年生雑草クログワイ・シズイ(草丈30cmまで)、オモダカ(矢じり葉4葉期まで)に高い効果。
- 4 コナギ、アゼナ等の一年生広葉雑草に高い効果。

農林水産省登録 第24149号

有効成分:

ピリミスルファン..... 0.60%

メタミホップ..... 0.90%

MCPB..... 2.4%

人畜毒性: 普通物

※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数※	使用方法
移植水稲	一年生 及び 多年生雑草	移植後20日～ ノビエ4.5葉期 但し、 収穫60日前まで	1kg/10a	本 剤 2回	湛水散布 又は 無人航空機による 散布
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲3.5葉期～ ノビエ4.5葉期 但し、 収穫60日前まで		ピリミスルファンを含む農薬 2回 メタミホップを含む農薬 3回 MCPBを含む農薬 2回	

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■各種雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ノビエ	4.5葉期まで(移植水稲)
ホタルイ	花茎10cmまで※
ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ エゾノサヤヌカグサ	4葉期まで
オモダカ	矢じり葉4葉期まで
クログワイ コウキヤガラ シズイ	草丈30cmまで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	増殖期まで
キシュウスズメノヒエ	再生茎5葉期まで
アゼガヤ(一年生雑草)	草丈20cmまで

雑草が上記葉齢を超えない時期に散布して下さい。
※登録は花茎20cmまでですが、安定した効果のため10cmまでの使用をおすすめします。

⚠効果・葉害等の注意

- 本剤はノビエの4.5葉期までは有効なので、時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は、生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ防除は、必要に応じて有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- キシュウスズメノヒエ防除は展開葉が水面に接する条件で使用する。
- 田植前後に使用する土壌処理除草剤との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布する。
- 本剤はホルモン作用を持つ除草剤で処理後低温が続く場合には、稲苗の生育抑制などをおこすおそれがあるので、処理後数日間の平均気温が15～16℃以下になると予想される場合には使用をさける。
- 直播水稲に使用する場合は、葉害をさけるため稲の3.5葉期以降に使用する。
- 本剤を無人航空機に使用する場合は、次の注意を守る。
 - 1) 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 2) 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - 3) 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 4) 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布する。
 - 5) 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。

- 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはいないに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除く。また、未熟有機物を施用した場合は特にないに行う。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を田面に均一に散布し、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 以下の水田では葉害を生じるおそれがあるので使用をさける。
 - 1) 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 2) 軟弱徒長苗を移植した水田
 - 3) 極端な浅植や深植をした水田
- 強風時の散布はさける。
- いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

この資料は2022年6月8日現在の登録内容に基づいたものです。



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
https://www.kaken.co.jp



詳しくはこちら